

能羽衣
和合之舞



林原美術館 開館60周年記念

祝賀能

HAYASHIBARA MUSEUM OF ART
60th ANNIVERSARY

Celebration Noh

岡山 池田家伝来の能面が彩る幽玄の世界

日時 令和6年 4月20日(土)
13時開演(正午開場)

会場 能楽堂ホールtenjin9

料金 S席 10,000円(税込)
A席 8,000円(税込)
B席 7,000円(税込)

主催 林能楽会
共催 RSK山陽放送、能楽堂ホールtenjin9
特別協賛 一般財団法人林原美術館

能乱
双之舞



林原美術館 開館60周年記念展

「大名家に伝わる能楽」

2024年 4月13日(土)~6月16日(日)

開館時間 10:00-17:00(入館受付は16:30まで)

休館日 毎週月曜日(祝日等休日の場合は翌日)

入館料 一般 500円/高校生 300円 ほか



林原美術館

〒700-0823 岡山県岡山市北区丸の内2-7-15
HP <https://www.hayashibara-museumofart.jp>
Facebook @hayashibara.moa X @hayashibara1964
Instagram @hayashibara1964

3月末までの展覧会

<企画展> 2/3~3/31

うたごころ
歌心-古典文学と和歌のしらべ-



本チラシをご持参の方

入館料を2割引(1枚1名)

対象期間
2024年2/3~6/16まで

林原美術館 開館60周年記念 祝賀能

HAYASHIBARA MUSEUM OF ART 60th ANNIVERSARY *Celebration Noh*

公演のご案内

日時: 令和6年4月20日(土) 13時開演(開場 正午)

会場: 能楽堂ホールtenjin9 岡山県岡山市北区天神町9-24 (RSKイノベティブ・メディアセンター1階)
TEL.086-225-1260



【交通アクセス】

JR岡山駅から徒歩で約15分
路面電車/「東山」行き約5分、「城下(しろした)」下車、徒歩2分
宇野バス/「片上方面 瀬戸駅、四郎神」行き、「表町入口」下車、徒歩2分
岡電バス/「藤原団地」行き、「RSK本社前・美術館前」下車、徒歩1分
循環バスめぐりん/「表町入口」下車、徒歩2分
※当施設には来場者用駐車場・駐輪場はございませんので、周辺の
駐車場・駐輪場施設をご利用くださいますようお願いいたします。

チケットのご予約・購入方法

発売日: 令和6年2月3日(土)開始

料金:

S席 10,000円(税込)

A席 8,000円(税込)

B席 7,000円(税込)

座席表



チケット取扱い

- 能楽堂ホールtenjin9
- ぎんざやプレイガイド
- 岡山音協 TEL.086-224-6066(平日9:00~17:00)
- ローソンチケット <https://l-tike.com/>
(Lコード:62212)

- 林能楽会
TEL.090-3928-6171(平日10:00~17:00)
- 能楽師 林宗一郎ホームページ
<https://hayashi-soichiro.jp/>



※諸事情により、演目・役者の変更がおきることもございます。ご了承ください。
※チケットの払戻しはお受けできません。
※未就学児の御入場はお断りいたします。
※上演中の撮影は主催者指定の関係者のみです。

お問合せ

能楽堂ホールtenjin9 TEL.086-225-1260(平日10:00~17:00)
林能楽会 TEL.090-3928-6171(平日10:00~17:00)
能楽師 林宗一郎ホームページ <https://hayashi-soichiro.jp/>



このたび、林原美術館棟開館六十周年を記念し祝賀能を行なう運びとなりました。令和二年に新たに完成した能楽堂ホール tenjin9 にて、歴史ある林原美術館所蔵の能面を用いた特別な上演となります。

岡山は歴代池田藩主が能楽をことのほか愛好したことで知られております。そのような地で大切に伝承されてきた能面を、実際の舞台上で使わせていただくことは、大変有り難く、また意義深いことです。能面は、飾るものではなく、舞台上で使われてこそ、本来の輝きを放ちます。文化財を未来へと伝えていくためには、それらを伝える人とともに、生かす人、また支える人が必要です。新たに創られた舞台上に古来から伝わる精神を吹き込みながら、また若い世代にも伝えていく場になればと考えております。

今回の祝賀能がひとつのきっかけとなり、岡山ゆかりの能楽文化が未来へと継承されることを心より願っております。

林喜右衛門家十四世 林 宗一郎

HAYASHIBARA MUSEUM OF ART
60th ANNIVERSARY

Celebration Noh

林原美術館 開館六十周年記念

祝賀能

令和六年四月二十日(土)
十三時開演(正午開場)

〈素謡〉

翁 観世 喜正

千歳 河村浩太郎

河村 和貴

田茂井廣道

河村 晴道

松野 浩行

〈仕舞〉

嵐山

林 彩八子

田村

観世 和歌

小鍛冶

林 小梅

地謡

河村 和貴

田茂井廣道

松野 浩行

河村 和貴

プチ能解説

樹下 千慧

林 宗一郎

〈能〉

羽衣

和合之舞

ワキ 岡 充

大鼓 守家 由訓

小鼓 大倉伶士郎

太鼓

梶谷 英樹

後見 味方 團

林 小梅

樹下 千慧

地謡

河村浩太郎

河村 和貴

松野 浩行

河村 晴道

田茂井廣道

観世 喜正

河村 晴道

休憩

プチ能解説

田茂井廣道

笠之段

〈一調〉

大島 衣恵

小鼓

大倉源次郎

鬼瓦

大名 網谷 正美

太郎冠者 松本 薫

後見

田賀屋夙生

樹下 千慧

林 宗一郎

〈能〉

ワキ 有松 遼一

大鼓

守家 由訓

太鼓

梶谷 英樹

双之舞

観世 和歌

後見 観世 喜正

河村浩太郎

地謡

林 彩八子

河村 和貴

松野 浩行

味方 團

午後四時半頃 終了

乱



乱 双之舞 あらすじ

中国楊子の里に住む、酒売りの高風のもとに通っていた不思議な客は、水中に棲む酒好きの妖精 狸々でした。高風が狸々との約束に従って、酒を湛えて川のはとりで待っていると、水中から狸々が現れ、酒に酔って浮かれつつ無邪気に舞い戯れます。狸々は、汲めども尽きぬ酒の壺を高風に与え、尽きせぬ世を祝福するのです。



羽衣 和合之舞 あらすじ

とある春の日、漁師白龍は三保の松浦で一枚の美しい衣を拾います。そこへ持ち主の天女が現れ、衣を返してほしいと言いますが、天人の羽衣と知った白龍はこれを惜しみ、返そうとはしません。衣が無くては飛行が叶わず天上界へ帰ることが出来ないで、天女は月の都を懐かしんで涙を流します。その姿に同情した白龍は、「天人の舞楽」を舞うことを条件に、ついに彼女へ衣を返すのでした。

羽衣を身にまとった天人は舞を舞いはじめ、月の世界の如く美しい春の三保の松浦で舞い戯れつつ、伝説となる天人の舞楽「霓裳羽衣」の舞を人間界へと伝えます。やがて、彼女は数々の宝を国土へ降らせると、そのまま月へと帰って行きました。